

2023 年 3 月 1 日

2022 年度聖路加国際大学大学院

看護学研究科修士論文要旨

医療基礎教育における IPE 担当教員の他職種理解と教育活動への影響

Faculty's Understanding of Other Professions and its Influence
on Pre-licensure Interprofessional Education

21MN019

薮 拓也

目的: 医療基礎教育における看護領域を含む Interprofessional Education (IPE) を担当する教育者の他職種理解および、他職種理解がもたらす IPE への影響に対する認識について明らかにすることである。

方法: 医療基礎教育における看護領域を含む IPE の実践経験がある教育者を対象に半構造化面接を行い、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) を用いて分析を行った質的研究である。IPE の実践報告から、対象の専攻に看護領域が含まれているものを選定し、文献の第 1 著者へ協力および協力者の紹介の依頼を行った。承諾を得られた協力者には、インタビューガイドを元に半構造化面接を行った。得られたデータを逐語録に起こし、分析テーマを他職種理解と教育活動への影響、分析焦点者を医療基礎教育における看護領域を含む IPE を担当した経験を持つ教育者として、データから概念の抽出と比較検討を続けた。最終的に生成された概念同士の関係からカテゴリーを生成し、最後に、カテゴリー同士の関係を検討し、その結果を図として表し、概要を記述した。

結果: 13 名の研究協力者へインタビューを行った。研究協力者の臨床における職種は、看護師が 4 名、理学療法士が 2 名、作業療法士が 1 名、歯科衛生士が 1 名、薬剤師が 2 名、医師が 2 名、歯科医師が 1 名であった。M-GTA の分析の結果、29 の概念、7 つのサブカテゴリー、3 つのカテゴリーが抽出された。以下、カテゴリーを【 】、サブカテゴリーを[] でくくって表記する。IPE の教育者は、[教える前の漠然とした理解] を有する中で、[理解とは何かを明確にする開始点] にある認識が合わさり、これらが他職種理解の【基盤となる認識】となる。【基盤となる認識】を基に、[理解の観点]、[自他を相対的に理解する]、[教育者であり学習者] の 3 つが、[関わりの中で知る構造] によって相互に関連しながら深められていく、【教えながら自他を学ぶ】過程を経る。そして、[理解がゴールではない] ため、得られた認識は教育活動に活かされ、再び【教えながら自他を学ぶ】ことを繰り返し、【教育活動の中で循環する】ことで、さらに他職種理解の認識は精練されていく。看護領域を含む医療基礎教育における IPE を担当した経験を持つ教育者の他職種理解と教育活動への影響は以上のようなプロセスであると捉えることができる。

結論: IPE の教育者における他職種理解と教育活動への影響のプロセスは、経験を元に有している不明確な認識について、教育活動を行うために、人との関わりや教育活動それ自体を通して明らかにしていき、再び自身の教育活動に活かしていくというものである。